

特別連載

Vol.15

野球体育博物館

2006、2009WBC決勝戦ウイニングボール

野球体育博物館では現在、企画展「WBC展」を開催中（3月31日まで）です。同展の目玉として、企画展示室中央に展示しているのが今回ご紹介する2つのウイニングボールです。

写真左は2006年の決勝戦ウイニングボールです。王貞治監督率いる日本代表は、韓国戦での連敗や、アメリカ戦でのタッチアップの判定問題など苦戦を乗り越え、失点率の差で準決勝に進出。準決勝では韓国に6-0で勝利、決勝ではキューバに10-6で勝利し、初代チャンピオンに輝きました。クローザーの大塚晶則投手がグリエル選手から三振を奪い優勝が決まった際のボールで、王監督の直筆のサインとメッセージ「世界

界一 最高だ!」が入れられています。

写真右は2009年の決勝戦ウイニングボールです。原辰徳監督率いる日本代表は韓国に2敗するもキューバ、韓国に連勝し準決勝に進出、準決勝ではアメリカに9-4で逆転勝利。決勝はこの大会5度目となる韓国との対戦で、延長10回の激戦を制し、2大会連続優勝を達成しました。クローザーのダルビッシュ有投手が鄭根宇選手から最後のアウトを三振で奪った際のボールで、原監督の直筆サインとメッセージ「V2 王監督に続いた!」が入れられています。

それぞれNPBのスタッフに収集いただき、チームの帰国直後から当博物館の展示に加わりました。この他、優勝トロフィーやユニホーム、選手使用用具をは

じめ多数の資料をご寄贈いただいております。今回の企画展でも展示しています。今大会でもNPBのご協力をいただき、こうした資料の収集を行い、ファンの皆様にご覧いただきたいと考えています。

